

日精会たより

古河日光退職者の会
日精会
発行責任者 田中一男
編集責任者 大門陽利

昔話に花が咲いた 和楽踊り

天気恵まれた八月二日午後七時、サイレンと同時に櫓の上から囃子手の笛が鳴り響き、会場中のイルミネーションが一斉に点灯されると会場全体から大歓声が湧き上って祭りが始まり、年に一度の祭りであるが一度は味わいたい情景でもある。

屋台も立ち並び、踊りが始まる時間前から多くの子供連家族の皆さんたちでにぎわった。

日精会のお休みどころには開始前から四十人前後の皆さんが立ち寄り、昔は祭りが三日間で日中には仮装大会や運動会が行われていたなど昔話に花を咲か



せたり、しばらくぶりの再会で旧交を温めたり、にぎやかに楽しいひと時を過ごし、途中で和楽踊りコンテストに参加して、



二年連続「日光事業所所長賞」を受賞した。

地元商店会協賛による豪華な賞品が当たる大抽選会もあり遅くまでにぎわった。

今年は、日光事業所の創業一八周年・行幸啓一一一周年記念祭で、これは素晴らしい誇れる伝統行事であるが、年々参加者、そして踊り手の減少が見られ、昔を知るものとして寂しい限りでもある。

会員状況
9月現在
105名



「和楽踊り」に行つて

吉新房子

(東町支部)



会社からの記念品を頂き、日精会のお

休み処にも、沢山の人が訪れ、皆さん楽しくお喋りをして賑わっていました。午後7時の工場のサイレンを合図に構内の電飾が一斉に点灯すると、何回見ても心がワクワクしてきます。うちの抽選会は、最後まで期待をして待っていました、ハズレでした(残念！)。

今でも顔見知りの同僚がいるので、古集の職場に行つてお喋りなどして楽しめました。

私も子供の頃は、屋敷をしてお祭りに行くのを楽しみにしていた事を思い出しました。
又、来年!!



千葉事業所の現状

「世界をつなぐ」様々な製品を製造

千葉事業所は1960年に操業を開始し、2024年で設立63年を迎えた。現在は電力事業部門、ファイバ・ケーブル事業部門、ファイテル製品事業部門に加え、研究開発部門も併せ持つ複合事業所であり、国内の重要な生産拠点として位置づけられている。古河ファイテルオプティカルデバイス株式会社、古河アドバンスドエンジニアリング株式会社、古河樹脂加工株式会社、理研電線株式会社等の関係会社も事業所内に工場を構えている。

し、現時点で従業員は約900人、その他関係会社、協力会社を含めると千葉事業所構内では約1500人が勤務している。電力事業部門では、離島などへ電力を届ける海底線、地中に埋設して電力を届ける高圧の地中送電線を製造している。ファイバ・ケーブル事業部門では、メタル工場では通信用の信号ケーブル



メタル工場

ルを、電子線工場で主に車関係に使用されるケーブルを製造している。ファイテル製品事業部門では、光通信を中心とした通信ネットワークを支える各種通信機器、光部品を主に製造している。

労組千葉支部記



千葉事業所(航空写真)

本部の動向

- ◎ 県退連 とうもろこし狩り 6月29日 吉新
 - ◎ 役員会議 6月28日・7月20日
 - ◎ 日光和楽踊 日精会お休み処設置 8月2日
- 立ち寄り者 38名

わらくいけ

「政治とカネ」は底なしを様相だ。自民党派閥の政治資金パーティー裏金問題で安倍派と二階派の元会計責任者は裁判の中で虚偽記入を認めた。更に20年前から還流が行われ、安倍元首相が中止を計画したが幹部協議で還流を再開した事も明らかになった。◇政倫審では、安倍派幹部の全員が「協議では結論は出ていない」と口を揃え、検察庁は告発された幹部議員の共謀を不起訴処分とした。庶民感覚では「キックバック」を会計責任者が、独断で虚偽記入を出来るのか疑問を感じる。◇昭和23年政治資金の流れを国民に公開して、政治活動の公正と公明を確保する事を目的として、議員立法の基に成立した。時を経て76年、未だに「政治とカネ」が未解決のまま、今回も生煮えのまま国会を開会した。◇岸田首相は「政治」(民主主義)にはコストがかかる。献金・政治資金パーティー・政治活動費等を禁止し現実を見ない案であってはならない」と述べた。国民から見ると抜け穴を残した改正案でとしか見えない。◇代理人が香典持参して公職選挙法違反の捜査から、裏金資金で、背広や食事代・サウナ代の支払いや公設秘書給与詐欺等、後を絶たない。◇「聞くことが上手」な岸田総理大臣が、9月の総裁選に不出馬を決めた。「政治とカネ」等で党内にけじめを付け来年の衆院選への布石としたのか？まだまだ国民へのけじめは付いていない。(M・S)

裏磐梯五色沼 紅葉ハイキング

《歩こうかい部》

◇期日：
10月23日(水)



募集中

◇参加費：
10000円
申込み締切
9月20日(金)
芳賀真治 53-1683
星野晃一 26-5368
上尾宜行 53-0465
荒井重男 22-5590
福田三男 54-3553



(部長 薄井和彦)

《将棋部》
6月15日、日光福祉健康セン
ターにおいて、今年度第一回将
棋大会を開催しました。部員の
都合で3名の参加者で同一相手
と3局を指して、半年振りに楽
しいひと時を過ごしました。

優勝 高頭東志夫 (安良沢)
二位 福田辰美 (森友)
三位 薄井和彦 (久次良)

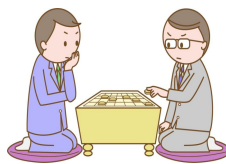


(部長 丹治浩一)

いきいき 部 活

6月12日、今市
カラオケバンバン
において、渡辺隆
さん・斉藤治一さん
の2名の入部が有
り、10名での歌合
戦、熱気で汗を拭きながらの楽
しい時間で
した。

《カラオケ部》



(部長 星 防人)

星 防人 1勝3敗
斉藤治一 4勝0敗
大門陽利 2勝2敗
山崎勇一朗 2勝2敗
西野信一 1勝3敗

6月15日、常連メンバー5名
でリーグ戦を行い和気あいあい
に楽しい時間を過ごした。新人
の入部を歓迎します。

《囲碁部》

日精会会員募集中

会員の皆様の
ご協力をお願いします。



入町クラブ

寛永18年(1641)以
後と思われるが門前町の日光
は、神橋を境に西町(入町)
と東町(出町)とに分かれ西
町は、本町・原町・袋町・四
軒町・大工町・板挽町・蓮華
石町(花石町)が、東町は鉢
石町・御幸町・石屋町・松原
町・稲荷町と呼ばれた。「日
の出の方角を入町とした」今回は
西町に残る「史跡・日光奉行
所跡」と敷地内にあった古河
電工の厚生施設「入町クラブ
(晃楽荘)」の見事な景観の
懐かしい建物について紹介す
る。「日光奉行所」とは、元
禄13年(1700)に設置



奉行所跡

日光山側の独立性は失われて
いなかった。それが今から2
34年前の寛政改革(179
0)によって日光奉行所が日
光領全体を直接支配する形と
なり、幕府直轄領を呈するこ
とになった。この改革で日光
領の中核をなしてきた山口氏
の日光目代職はとりあげられ
日光領奉行所の職掌と権限は
拡大強化した。職掌は、御宮
警固を第一とし日光領町方の

シリーズ「郷土のはなし」第八回 史跡・日光奉行所跡と「入町クラブ(晃楽荘)」 その一

されたが、まだ実務において
は目代(代官)が大きな役割
を果たし、また、決定権にお
いては門跡の権限が大で、

忘年会

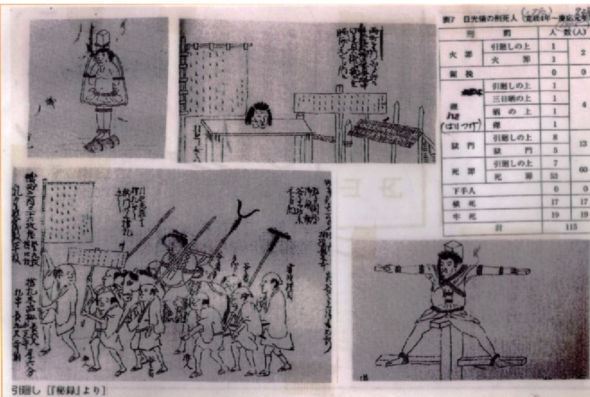
《行事企画部》

◇期日：
12月4日(水)～
5日(木)



◇場所
塩原温泉:和楽遊苑
◇内容
グラウンドゴルフ
カラオケ 等
◇参加費: 13000円
**申込み締切
10月31日(木)**
詳細は
後日配布します

処刑例



撫育・日光山一山取締・収納
出入・修復・御仕置(刑罰)・
吟味物(刑事訴訟)に至るま
で取扱うこととなった。

江戸時代を通して日光領が特
にということではないが、殺
し・盗み・密通・賭博犯罪が
多発し、それに応じた過酷な
刑罰社会が形成されていった。
寛政4年(1792)から慶応
元年(1864)迄の72年
間に日光の刑死人は115名
にもなった。よく「社寺門
前に売女あり」とか「名山あ
るところに博徒あり」などと
言われるように日光山詣や
札所巡りなどで人びとの往来
が激しい日光は、これらに纏
わる事件も多く発生した。ま
た、江戸時代は現在に比べ刑
罰が非常に重かった。
次回は、古河電工の厚生施
設「入町クラブ(晃楽荘)」
について

(玄梅正明)

各部行事予定

《歩こうかい部》

第1回 10月23日(水)

裏磐梯五色沼紅葉ハイキング

《ゴルフ部》

日光市民ゴルフ場

参加費10000円

第2回 10月29日(火)

《将棋部》

日光福祉保健センター

参加費10000円

第2回 9月14日(土)
第3回 12月14日(土)

《Gゴルフ部》

大谷川グリーンパーク

参加費5000円

第2回 10月9日(水)

《囲碁部》

星部長宅

第2回 11月2日(土)

《カラオケ部》

今市カラオケバンバン

参加費7000円

第2回 10月16日(水)

《女性部》

第1回 9月27日(金)

宇都宮LRTに乗る

部に入って無くても
ぜひ参加してください

新入会員紹介

7月入会

篠崎 勇 さん (遠地)

松本 和浩 さん (清滝)

8月入会

斉藤 日出雄 さん (清滝)